

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	中野区中央 1-23-7 ハイツスモルカ 1 階
園名	あーす保育園中野坂上

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食

<テーマの設定理由>

(テーマに関えする子どもの興味関心、園の特色など)

・普段の給食から食に積極的な子、好き嫌いの多い子と様々見られ、また、これまでも毎月の食育活動を行っていたことをふまえて、一人ひとりが主体的に食への興味・関心を深められる機会を作りたいと思った。

・何にでも”やってみたい”という好奇心や意欲の強いクラスなので、これまでにない体験を多く取り入れ探求心をより深めていきたいと考えた。

2. 活動スケジュール

月 1 ～ 2 回行った。おままごとや食べ物の絵本、お絵描きは日々に保育活動、自由遊びで触れ楽しんだ。

- ・ 2025 年 9 月 25 日(木) スーパーへお買い物
- ・ 2025 年 11 月 4 日(火) ミニ畑で野菜掘りごっこ
- ・ 2025 年 11 月 5 日(水) パネルシアター”いもほりかいじゅう”
- ・ 2025 年 11 月 6 日(木) AM 畑でお芋掘り PM お芋のお絵描き
- ・ 2025 年 12 月 9 日(火) お野菜スタンプで年賀状作り
- ・ 2026 年 1 月 16 日(金) 大根について知ろう
- ～2026 年 1 月 23 日(金) 使った大根で切り干し大根作り
- ・ 2026 年 2 月 17 日(火) ほうれん草について知ろう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

○準備した素材や道具

- ・野菜堀ごっこ (タライ、土、野菜)

→大きな畑に向かう前にタライと土で作ったミニ畑で野菜掘り体験をし、やる気と期待を深めた。

- ・お芋ほり (パネルシアター、貸切バス、芋ほり体験、シューズラック)

→芋掘りの前には導入としてパネルシアターを演じることで、中で歌った歌を口ずさみながら楽しく移動や芋掘りを過ごすことができ、会話も弾んだ。芋掘りの日は長靴での活動となった為シューズラックを用いて準備したり、出発前の待ち時間を安全に過ごせた。

- ・活動の記録用 (PC、iPad)

→活動は iPad カメラで記録し、パソコンを用いて報告書を作成した。

○環境設定

- ・給食チェック (ホワイトボードシート)

→毎日の給食チェックでは食べ物マグネットとホワイトボードシートを室内に設置し使うことでより分かりやすく、実物の写真を見て興味を深めることができた。

- ・自由あそびの設定 (絵本棚、収納ラック、おもちゃ棚、クレヨン、ままごとキッチン)

→日々の自由遊びでおままごとやお絵描き、絵本を楽しんだ。収納ラックとおもちゃ棚、絵本棚でおままごと類や絵本類を整理することで子ども一人ひとりが見やすく、興味を持って手に取りやすい環境をつくるようにした。

- ・一斉、グループ、個別の使い分け

→野菜掘りごっこやお絵描きは一斉に活動したが、スタンプや野菜に触れる活動は3人ずつのグループに机を分け、触れやすく見やすくなるよう工夫したり、個々に援助が必要な時は1人ずつ行うようにし丁寧に関わっていった。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①スーパーへお買い物…実際にスーパーへ行き、並ぶ野菜や果物等観察しながらお買い物を楽しんだ。購入した野菜は給食に使ってもらい、給食時の発見や会話に繋がった。
- ②野菜掘りごっこ…タライ・土・野菜を用意し、野菜を事前に埋めておき掘り起こし体験を行った。実際に野菜、土に触れ興味を深めることができた。
- ③パネルシアター→お芋掘り→お芋スケッチ…芋掘り前日には導入として”いもほりかいじゅう”のパネルシアターを見た。初めての芋掘りを体験し、帰園後は持って帰ってきた芋を見ながらスケッチを行った。
- ④お野菜スタンプで年賀状作り…芋・小松菜・レンコン・人参等何種類かの野菜を使いお野菜スタンプを楽しみながら、ハガキに押し年賀状を作った。様々な野菜に実際に触れながら興味津々だった。
- ⑤大根・ほうれん草について知ろう…オイシックスから葉つき大根と根つきほうれん草、教材のセットを取り寄せ、触れたり話を聞いて学んだ。目の前で切って断面を見たり、大きさや色、匂いや固さ等様々な方法で観察した。大根の活動では、煮たものや切り干し大根、切ったものと様々な形状のものを用意し、ほうれん草の活動では、似た野菜の小松菜を用意し、比較しながら観察できるようにした。使った大根は外で干し、切り干し大根へ変わっていく様子も観察してみた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ①・子どもたちも行ったことのあるスーパーだったのでとても喜んで向かう。品物には触らず見ることを約束するとよく守り興味津々で店内を見てまわることができた。
 - ・「これ買ったよ」「ママと〇〇買ったことある」「〇〇くんが好きなブロッコリーだ」と野菜や果物を見ながら会話が弾んでいた。
 - ・給食の先生へ届けるのを楽しみに帰園した。
 - ・給食中は買ってきた野菜をメニューから探しながら「また行きたいね」「これは(買い物していない別の食材)誰が買ってきたの?」と話す姿があった。



②・サツマイモが土に埋まっている野菜だと気づくことができた。

- ・土の中から出てくるサツマイモを見てとても喜んでいました。
- ・「どこにあるかな？」と言って何度も繰り返し探している様子だった。保育者が埋めなおさなくても自分たちで真似して上手に埋めて隠し楽しんでいました。
- ・土の感触を楽しんでいる様子で「気持ちいいね」と言っていた。



③・初めて見るパネルシアターに興味津々で、出てくる歌と振りもすぐ覚え楽しく見ていた。

- ・何日も前から話していた芋掘り当日、長靴やバス移動に喜んでいました。
- ・バス移動中はパネルシアターで歌った歌を口ずさんだり、「恐竜の骨出てきたらどうする？」等パネルシアターの内容を思い出しながら楽しく過ごしていた。



- ・実際に見る広い畑は不思議そうに見ており、芋とは別に植えてある人参や大根の葉を「たくさんだね」「フサフサのこれは何の野菜？」と話していた。
- ・芋の葉やツルは切られており、少し分かりづらそうだった。
- ・掘って芋が出てくると嬉しそうに見せてくれる。根気強く掘り続ける必要があり、途中で芋ほりではなく、土に触れたり土の中から出てくる幼虫や虫に興味が行き移っている子もいた。
- ・芋が見えない状態だとあまりやる気が見えないが、保育者が掘り進め芋が見え始めた状態で「見えてきたから一緒にやろう」と誘うと喜んで続きをやり掘り出そうとしていた。
- ・畑の土はやわらかく自分たちの足跡が綺麗につくのを喜び友だちと見せ合っていて楽しんでいた。
- ・採れた芋を運ぶと「重い！」「これは小さいね」と大きさや重さを比べ話している。
- ・採れたものをまとめて置いていても自分の掘ったものは覚えているのか選び取って運んだりしていた。

- ・自分で掘った芋を家族に見せることを楽しみにしている様子だった。



- ・スケッチでは、サツマイモの色や形にしっかり注目し描いている子が多かった。
- ・自分の好きな色を使って描いている子もあり、「見て」と保育者や友だちに見せ合っていた。
- ・何個も描く子もあり、その日に見た複数のサツマイモをイメージしている様子だった。



- ④・何種類かの野菜に「トマト好き」「変な匂い」「これ食べれるよ」「冷たい」と話しながら触ってみる姿がある。

- ・実際に葉をちぎったり目の前で切ってあげると、おままごとのように遊び始めていた。
- ・レンコン模様のスタンプができあがることを喜び、繰り返し行っていた。
- ・様々な形の違いに気づき、集中して楽しく取り組んでいた。
- ・上手く形がでなかったときは不思議がり再び力を入れてみたりと工夫する姿があった。

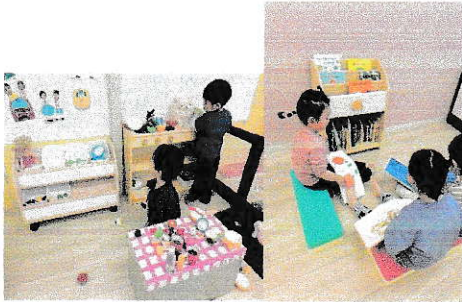


- ⑤・大根は煮たものや切り干し大根、切ったものと様々な形状のものを用意することで、感触や匂い・形の違いに興味津々で観察していた。

- ・初めは食材を前にしてもどうしてよいかわからず手が出なかったが、保育者が「においはどう?」「触ったら柔らかいかな?」「ちぎってみようか」等いろいろなやり方を見せることで、真似る姿が見られた。
- ・大根の葉は喜んで触っていたが、ほうれん草の根は少し嫌がる子もいた。
- ・ちぎってみたり葉を重ねたりとそれぞれ思い思いの方法で比べ観察している。



○おままごと・絵本



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・観察することが初めての体験だった為活動当初はいざ食材を前にしても何をしていいかわからない様子だったが、保育者が匂いを嗅いでみたりちぎってみたりつぶしてみたりと先にやって見せることで真似し、同じような場面になると自らやって試そうとする姿が増えた。
- ・まだ自分たちで考え付いたり言葉で表現することは難しい様子だったため、「○○してみたら？」と声をかけたり、見本を見せる等、保育者側の工夫も必要だと感じた。
- ・活動を通して色々な食材に触れたことで、給食で意欲的に食べようとしたり使ってきた野菜に気づいたりやってきたことを思い出しての会話が增えた。
- ・今回”野菜”に焦点を当てて探究活動に取り組んだことで、子どもたちの興味が一層深まる様子が見られた。今後は果物や調味料など他の食材にも対象を広げ、「食」への関心をさらに広げていきたい。